

令和元年度

(平成31年度)

事業報告書

社会福祉法人 平取福社会 本部

## 法人本部事業報告書

### 1. 法人全体の収支決算の状況

各拠点区分会計を合わせた法人全体の資金収支計算書における決算では、事業活動による収支差額がマイナス16,858千円、平取かつら園大規模改修工事、各施設整備等による収支差額がマイナス12,818千円、その他の活動による収支差額が24,327千円となり、これを合算した令和元年度(平成31年度)の当期資金収支差額の合計がマイナス5,349千円となったところであります。差額には積立金取崩収入額として33,654千円含まれています。各施設とも当初予算計画に基づき運営をしてまいりましたが、2月下旬より新型コロナウイルス感染症の感染拡大により自粛要請に努めさせていただきました。そのことから障害者支援施設並びにデイサービスの業務を縮小したことから減収となりました。特にデイサービスについては平取町と協議し、減収分についての協力を求めたところでございます。また、障害者支援施設で不幸にして利用者3名の方がお亡くなられたこと等も含め当初予算見込を下回ることとなりました。

### 2. 法人組織の運営状況

令和元年度(平成31年度)は、理事会11回、評議員会を3回それぞれ開催し、理事、監事、評議員は、その職務に応じ注意義務をもって各拠点の事業の実施に向けた協議や各種規程の見直し、更には補助金事業、新型コロナウイルス感染症予防対策等について取り組んだところです。

法人本部につきましては、人事管理や経理事務の本部集約化についても継続的に進めてまいりました。また、事業実施計画及び資金収支計画に基づき各施設の事業の推進に不可欠な補助金の確保にも各関係機関に求めてまいりました。そのことから、平取かつら園の改修工事を実施することができました。また、将来にわたり持続可能な運営を果たして行くための人材の育成や施設の体制づくりに努めてきました。最後に平取町並びに各関係機関のご支援についても深く感謝しております。

令和元年度  
事業報告書

社会福祉法人平取福社会

障害者支援施設 すずらん

就労継続支援事業所 さるがわ

共同生活援助事業所 せきえい

# 目 次

1	はじめに	1
2	施設経営等について	1
3	障害者支援施設すずらん事業内容について	2
	(1) 生活介護事業	
	(2) 施設入所事業	
4	就労継続支援事業所さるがわの事業内容について	2～3
	(1) 農産事業	
	(2) 林産事業	
	(3) 木工事業	
	(4) 施設外支援事業	
	(5) 施設外就労事業	
	(6) 受託支援事業	
5	共同生活援助事業所せきえい(グループホーム)の事業内容について	3
6	障害者支援施設すずらん拠点区分収支決算について	3～4
7	添付資料	5～9
	(1) 利用者出身地別調べ	
	(2) 利用者程度別年齢別調べ	
	(3) 利用者月別利用状況調べ	
	(4) 利用者重複障害状況調べ	
	(5) 利用者傷害区分判定状況調べ	
	(6) 主な利用者各種行事及び健診等の状況について	

## 1 はじめに

障害者支援施設すずらんは、道内4番目となる精神薄弱者授産施設として昭和59年に開設し、36年を経過したところであります。

開設以来、平取町、後援会・地域の方々、保護者の方々などからご愛顧をいただきながら、障害者福祉のご理解・ご支援・ご協力を賜りましたこと深く感謝申し上げます。

年月が経過していく間に、幾度かの制度改正があり、平成24年度から改正となった障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)に基づき、障害者支援施設すずらんについては、生活介護事業・施設入所事業、就労継続支援事業所さるがわは、就労継続支援B型事業、また、共同生活援助事業所せきえいでは、共同生活援助事業を行い、地域生活を支える多様な事業展開と共に就労に関する支援を充実させ一般企業への就労を含めた社会活動への参加を促進するなど、利用者の自己実現を目指し支援を行ってまいりました。また、障害者虐待防止法及び障害者差別解消法などを遵守し適正なサービスの提供と質の向上に努めてまいりました。

## 2 施設経営等について

施設経営にあたっては、平取福祉会の「事業執行方針」及び当施設の「事業計画」に基づき法人の経営の基本方針を遵守し、個人尊厳の基本理念のもとに利用者と職員の心のふれあい、安全確保を重点と捉え、日々のあらゆる場面での支援に努めてまいりました。

すずらん・さるがわ・せきえいそれぞれが専門的立場に立って地域福祉のニーズに対しての地域社会で生活していくための必要なサービスを十分に受けることができるよう、関係機関との連携を密にし、利用者の支援サービスに努めたところであります。

また、施設の行事の実施にあたっては、利用者の希望を取り入れるなど、利用者本位になるよう努め、季節にあった行事や旅行、買い物外出、見学会、食事会など計画実施してきました。

毎年実施しております当施設の最大イベントである収穫祭については、昨年度は、胆振東部地震(震度6弱)の発生により中止とさせていただきましたが、今年度はさるがわの農産・林産事業の見直しによる収穫物の減少もあり、装いも新たに「すずらん秋まつり」として開催させていただいたことをここに報告いたします。

### 3 障害者支援施設すずらの事業内容について

#### (1) 生活介護事業

利用者の心身の状況等に応じての介護や介助サービスの基本に捉え、状況に応じて軽作業等も取り入れながら健康の維持と合わせ、安心・安全な生活環境を確保し、その他の便宜を適切かつ効果的に行ってまいりました。

#### (2) 施設入所事業

利用者が日中活動と併せて夜間において介護や介助をして、その人らしい生活を営むことができるよう支援し、生活の充実に努めてまいりました。

また、高齢化が進み心身が衰え介護や介助を受ける利用者が年々増えつつあることを申し添えます。

### 4 就労継続支援事業所さるがわの事業内容について

#### (1) 農産事業

利用者の高齢化及び重度化による作業能力の低下に伴い、利用者に負担がかからぬよう最低限の作業に縮小し、根わさびの播種、管理、11月からの収穫という形態で進めて参りました。

今後も、利用者にとって無理のない範囲での農作業を視野にいれつつ、冬季間の作業の確保に努めて参ります。

また、農地の利用方法を十分に検討していくことが求められます。

#### (2) 林産事業

利用者の高齢化及び重度化による作業能力の低下により、ホダ木の管理作業が困難になっているのに加え、採算が合わない傾向でもあるため、事業の縮小に取組み保有ホダ木のみでの椎茸栽培としました。修繕等の経費をかけずに行ったことで増収に繋がっております。

くん炭の製造につきましては、新規の契約もあり販売量が見込めるため、くん炭釜を新規に購入し農業協同組合と併せて増収となっています。

#### (3) 木工事業

イベント販売・委託販売・受注生産を行っておりますが、委託販売については下降傾向にあります。しかし、受注生産につきましては年末から年度末にかけて、平取町木育推進事業ウッドピリカより積み木やドミノ等、新得町わかふじ寮よりレーザー加工による看板、ウレシパより白老町ウポポイで体験で使用する携帯スタンドのレーザー加工、SDGs バッジなどの製作依頼があり、収入増となりました。

(4) 施設外支援事業

本町地区、振内地区で7件の事業所で働かせていただいています。今後継続していけるよう支援していきます。

(5) 施設外就労事業

令和元年7月から平取町国民健康保険病院の清掃を行っています。安定した収入源となっており、利用者が落ち着いて作業に取り組めるよう支援しながら進めていきたいと考えています。

また、二風谷コタンカフェ「アリキキ」につきましては、資料館等の来客人数は増えていますが、アリキキに立ち寄らない団体旅行客も多く、当初予算しておりました一人当たり500円を下回る一人当たり350円という結果にとどまりました。価格の見直しなど十分に検討し増収を目指します。

(6) 受託支援事業

施設内調理実習と洋服の仕立て直しを行っています。調理実習については調理員にも頼られる状態となっています。仕立て直しについては、実習者が高齢となってきたため、状況を見ながら進めていきたいと思えます。

5 共同生活援助事業所せきえい(グループホーム)の事業内容について

グループホームについては、せきえい・はばたき・ほろしり・あおぞら・きみかけ・みなもとの6か所を運営しており、利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう利用者の身体・精神の状況並びに環境に応じての相談援助に取り組んできたところです。

令和元年5月には振内町内の単身者住宅を2部屋借用し一人暮らしに近いサテライト型住居を開始いたしました。

今後は定員の増員と共に新規グループホームの開設を視野に、職員体制の在り方、経費節減等を十分に検討し、更なる収益増を目指します。

6 障害者支援施設すずらん拠点区分収支決算について

資金収支計算書による事業活動収入は、315,367,549円で事業活動支出は、308,943,894円、事業活動資金収支活動差額は、6,423,655円、施設整備等収支・その他の活動収支を含め、当期資金収支差額は、583,944円で決算したところでもあります。

今年度につきましては、せきえい事業の見直しによる運営費の拡充やさるがわの二風谷コタンカフェの拡充等に努めて参りました。不幸にも3名の入

所者がお亡くなりになり当初の収入見込みを下回りました。

感染症につきましては、大きな発生もなく安堵したところではありますが、新型コロナウイルスの感染拡大の懸念もあることから、これからも一層徹底した予防に努めたいと考えています。

最後になりますが、令和元年度の事業執行の報告いたしました。事業を振り返り反省と改善をより一層高め、利用者と楽しみながらの生活と安心した支援に努めたいと考えていると共に、皆様方のご理解・ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## (1)利用者出身地別調べ

令和2年3月31日現在(人)

市町村名	居住場所									日中活動					
	施設入所			グループホーム			一人暮らし/通所			生活介護			就労継続支援B		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平取町	6	5	11	4	2	6	1	0	1	6	4	10	5	3	8
日高町	3	3	6	1	1	2	0	0	0	4	3	7	0	1	1
新ひだか町	4	0	4	2	0	2	0	0	0	3	0	3	3	0	3
浦河町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
様似町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
えりも町	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
日高管内計	15	10	25	7	3	10	1	0	1	15	8	23	8	5	13
厚真町	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0
むかわ町	0	2	2	1	0	1	0	0	0	0	2	2	1	0	1
上士幌町	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
白糠町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
釧路町	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
厚岸町	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
訓子府町	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0
清里町	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
広尾町	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
他管内計	4	4	8	4	1	5	0	0	0	3	4	7	5	1	6
芦別市	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
恵庭市	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
函館市	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
岩見沢市	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2
釧路市	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
帯広市	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2
苫小牧市	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
富良野市	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
千歳市	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
札幌市	4	2	6	4	0	4	0	0	0	4	2	6	4	0	4
市計	7	6	13	9	2	11	0	0	0	6	5	11	10	3	13
合計	26	20	46	20	6	26	1	0	1	24	17	41	23	9	32

(2)利用者程度別年齢別調べ

令和2年3月31日現在(人)

障害程度区分 年齢別(歳)	1		2		3		4		5		6		未判定		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
【施設入所者】																	
20~29								1							0	1	1
30~39							1	1	1		1				3	1	4
40~49					1		4	2	1			2			6	4	10
50~59						1	3		2	2		1			5	4	9
60~69			1		1	2	2	4							4	6	10
70~					3		3	1	2	2		1			8	4	12
計	0	0	1	0	5	3	13	9	6	4	1	4	0	0	26	20	46
【グループホーム者】																	
20~29			1		1										2	0	2
30~39				1	1	1									1	2	3
40~49			2		5										7	0	7
50~59			1	1	3	2									4	3	7
60~69			1		4										5	0	5
70~			1	1											1	1	2
計	0	0	6	3	14	3	0	0	0	0	0	0	0	0	20	6	26
【一人暮らし・通所者】																	
20~29									1						1	0	1
30~39															0	0	0
40~49															0	0	0
50~59															0	0	0
60~69															0	0	0
70~															0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	0	0	7	3	19	6	13	9	7	4	1	4	0	0	47	26	73

	男	女	合計
最低年齢	20	28	
最高年齢	82	80	
平均年齢	52.1	55.5	53.5

(3)利用者月別利用状況調べ

令和2年3月31日現在(人)

年月日		31	元	元	元	元	元	元	元	元	2	2	2	所 属
		4/1	5/1	6/1	7/1	8/1	9/1	10/1	11/1	12/1	1/1	2/1	3/1	
居住場所	男	27	27	27	27	27	27	27	27	27	26	26	26	施設入所
	女	23	23	23	23	22	22	22	20	20	20	20	20	
	計	50	50	50	50	49	49	49	47	47	46	46	46	
	男	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	グループホーム
	女	4	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	
	計	24	25	25	25	26	26	26	26	26	26	26	26	
	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	通所
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
合計		76	76	76	76	76	76	76	74	74	73	73	73	
日中活動	男	25	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	(生活介護)
	女	19	19	19	19	19	19	18	17	17	17	17	17	
	計	44	44	44	44	44	44	43	42	42	41	41	41	
	男	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	22	23	さるがわ
	女	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
	計	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	31	32	
合計		76	76	76	76	76	76	75	74	74	73	72	73	

(4)利用者重複障害状況調べ

令和2年3月31日現在(人)

区分	てんかん	統合失調症	その他の精神疾患	脳性麻痺以外の肢体不自由	視覚・聴覚障害	身体障害	合計
男	16	2	3	1	1(聴覚)	3	26
女	5	4	10	1		1	21
合計	21	6	13	2	1	4	47

(5)利用者障害程度区分判定状況調べ

令和2年3月31日現在(人)

区分	1	2	3	4	5	6	合計	平均	未判定
男	0	7	19	13	7	1	47	3.489	0
女	0	3	6	9	4	4	26	4	0
合計	0	10	25	22	11	5	73	3.671	0

(6)主な利用者各種行事及び検診等の状況について

月日	事 項	内 容 等
4 1	開園記念日	開園記念お祝い昼食会
5	14 花見会	施設正面駐車場にて昼食会(ジンギスカン)、ビンゴゲーム 全員参加
	19 乳がん検診	平取町にて女性利用者8名実施
	22 健康診断	札幌慶友会往診にて該当利用者実施
	30 北海道知的障がい施設協会日胆地方会行事	札幌市『つどい』にて軽スポーツ交流会 利用者2名・引率1名
6	6 避難訓練	すずらん、さるがわ、避難訓練(夜間想定)、消火訓練実施 全員参加
	7 特定検診	平取町民センターにて該当利用者実施
	10 外出旅行(日帰り)	門別町富川にて買い物、温泉、食事 利用者2名・引率2名
	13 自然災害訓練	すずらん、さるがわ、災害時の非常食提供の訓練を実施
	16 見学	振内小学校運動会見学 利用者8名・引率1名
	18 避難訓練	せきえい、地震による火災からを想定、各グループホームからの避難訓練を実施
	25 避難訓練	
	27 北海道知的障がい施設協会日胆地方会行事	伊達市にてパークゴルフ大会 利用者2名・引率2名
28 外出旅行(日帰り)	むかわ町内にて買い物、食事 利用者3名・引率2名	
7	9 野外昼食会	すずらん、さるがわ、弁当を外注し野外で昼食会
	10~11 外出旅行(一泊)	定山溪温泉宿泊、札幌水族館見学 利用者4名・引率2名
	23 外出旅行(日帰り)	苫小牧イオンにて買い物、グランドホテルニュー王子にて昼食 利用者3名・引率2名
	24~25 外出旅行(一泊)	伊達市で観光、北湯沢温泉で宿泊 利用者9名・引率4名
	28 祭り見学	幌尻まつり見学 見学希望者
8	3 外出旅行(日帰り)	札幌ドームにてプロ野球観戦 利用者3名・引率2名
	24 ふれあい広場	平取町ふれあい広場に参加
	28 外出旅行(日帰り)	二風谷コタン休憩所、安平町道の駅、苫小牧市街にて観光、買い物 利用者4名・引率1名
9	7~8 祭り見学	振内八幡神社祭 希望者見学
	15 祭り見学	沙流川まつり 希望者見学
	20 外出旅行(日帰り)	帯広動物園見学 利用者9名・引率4名
	24~25 外出旅行(一泊)	室蘭にて観光、登別温泉にて宿泊 利用者2名・引率2名

月日	事 項	内 容 等	
10	6 16~ 17	すずらん秋まつり (旧収穫祭) 外出旅行(一泊)	全員参加 富良野市内観光、美瑛町白金温泉で宿泊 利用者14名・引率4名
	20	見学	振内小学校学習発表会見学 利用者5名・引率1名
	21	外出旅行(日帰り)	札幌市内、大型ホームセンター、ショッピングモールにて買い物 利用者4名・引率2名
	26	外出旅行(日帰り)	平取町本町へバス単独外出し買い物 利用者1名
	11	1 ~2 6 ~7	見学 外出旅行(一泊)
8		外出旅行(日帰り)	苫小牧市内にて買い物、食事 利用者2名・引率2名
11		健康診断	札幌慶友会往診にて利用者全員実施
13		外出旅行(日帰り)	札幌市内、大型ホームセンター、ショッピングモールにて買い物 羊ヶ丘展望台で観光、食事 利用者4名・引率2名
12	2	子宮がん検診	平取町にて女性利用者7名実施
	5	もちつき会	正面玄関にて餅つき 全員参加
	15	クリスマス会	交流ホームにて実施 全員参加
	20	避難訓練	すずらん、さるがわ、避難訓練(日中想定)、消火訓練実施 全員参加
	18	一泊旅行	函館方面へ一泊旅行 利用者2名・引率1名
	26	買い物等外出	振内町内での買い物・昼食 未帰省者1名・引率1名
1	31	外出旅行(日帰り)	むかわ町内にて買い物、食事 利用者1名・引率1名
2	4	外出旅行(日帰り)	札幌市にて雪まつり見学、市内買い物、食事 利用者2名・引率1名
	18	外出旅行(日帰り)	苫小牧イオンにて買い物、食事、市内入浴施設にて入浴 利用者2名・引率1名
	27	ウィンターフェスティバル	交流ホームにてレクリエーション、昼食、ビンゴ大会 全員参加
3	4	慰労会	すずらん、さるがわ、昼食会 全員参加
毎月	朝会・誕生会	朝会・誕生会~月1回	
	/診察	診察~月1回石井病院医師往診 定期受診利用者	

C

C

令和元年度

(平成31年度)

# 事業報告書

社会福祉法人 平取福社会

特別養護老人ホーム平取かつら園

びらとりデイサービスセンター

目 次		
1	はじめに	1 ページ
2	施設経営について	1 ページ
(1)	各事業の利用状況について	1～2 ページ
(2)	生活の場づくりとサービスの向上について	2 ページ
(3)	職員組織と機能強化について	2 ページ
(4)	財務（会計）管理について	2 ページ
(5)	食事サービスについて	3 ページ
(6)	入浴サービスについて	3 ページ
(7)	保健・医療サービスについて	3～4 ページ
(8)	リハビリテーションについて	5 ページ
(9)	行事及びレクリエーションについて	5 ページ
(10)	地域交流サロン「かつら」について	5 ページ
(11)	ボランティア活動について	5 ページ
(12)	防災・事故防止について	5～6 ページ
(13)	その他	6 ページ
(14)	各事業実績（平成31年3月31日現在）について	7～8 ページ
①	施設利用者利用状況	
②	施設利用者介護度状況	
③	施設利用者日常生活動作～寝たきり度	
④	施設利用者認知症日常生活自立度	
⑤	施設利用者出身地別構成	
⑥	施設利用者年齢構成	
⑦	短期入所者利用状況	
⑧	デイサービスセンター利用者利用状況	
⑨	食の自立支援事業（給食サービス）利用状況	
⑩	地域交流サロン「かつら」利用状況	
3	利用者行事等の実施状況について	9～10 ページ



## 1 はじめに

日本における超高齢社会が進む中、介護を必要とする方々が住み慣れた地域社会で安心して生きがいを持って生活ができるよう平取町の高齢者福祉の拠点となることを目指し、平成元年4月に特別養護老人ホーム平取かつら園及び短期入所(ショートステイ)が開設、平成8年4月には、在宅福祉サービスとしてデイサービスセンターを開設しました。

平成29年度より国が推進している地域ケアシステム構築により高齢者が地域で自分らしく、住み慣れた地域で可能な限り長く生活ができるよう、身体機能の低下を防ぐ目的で、地域交流サロン「かつら」を開設、デイサービスについても要支援者等対象に介護予防生活支援サービス事業(通所型サービスA緩和型及び通所型サービスC短期集中リハビリ)が平取町より受託し、地域における期待と役割を担い31年を経過したところであります。

開設以来、平取かつら園も地域福祉の推進・充実した施設福祉を目指し、貴重な経験と実績を生かしながら、専門的機能と福祉人材を活用し、在宅福祉についてもこれまで以上に役割を果たしてきたところでありますが、介護保険制度から3年毎の介護報酬の改定等や物価の高騰などの諸事情があり、施設経営が非常に厳しい状況は変わっておりません。また、令和2年2月より新型コロナウイルス感染予防により事業を縮小せざる状況がありましたことをご報告申し上げます。

令和元年度の事業につきまして、平取かつら園本体等が老朽化のため、国・北海道・平取町の補助金により大規模改修工事(外装・ボイラー・特殊浴槽ストレッチャー等の更新改修等)が実施され、令和2年3月については、JKA(自転車・オートレース)及び日本郵便より補助金決定を受け、令和2年度で特殊浴槽(車椅子対応)と各居室のエアコン設置整備が実施される予定となっていることをご報告申し上げます。

令和元年度の事業報告につきまして、平取町をはじめ各関係機関、団体、地域住民の方々、町内外のボランティアから寄せられました多大なるご支援と温かいご高配に心から感謝とお礼を申し上げますと共により一層のご支援・ご理解・ご協力とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 2 施設経営について

施設経営にあたりましては、法人の「事業の基本方針」並びに、当施設の「事業計画」に基づき、施設利用者のニーズを十分に取り入れ利用者の立場に立った生活、生きがいの場であるという「利用者本位」の考え方に立って、より良い介護サービスの提供に努めてまいりました。

### (1) 各事業の利用状況について

令和2年2月下旬より新型コロナウイルス感染予防のため、ショートステイ・デイサービス事業については、約1か月の期間について事業の休止・縮小した事業展開となっております。

施設利用実績については、定員55名で事業が開始され、1年間の利用延べ人数は19,429人と昨年よりも547名多くなっており、施設の年間計画目標稼働率は98%に対し96.52%のとなり1.48%低くなった結果となりました。

なお、年度中に、長期入院や死亡等で退所された方は13名(男性3名、女性10名)となっており、入所待機者の状況については、地域の高齢化が進むなか在宅福祉の推進もありますが、年度末では40名(男性13名、女性27名)となっております。

ショートステイ事業については、利用延べ人数が1,220人、一日の平均利用者数は3.33人になっており、目標利用者数3.0人より若干多くなった結果となっています。

デイサービス事業については、開設299日、利用延べ人数は6,480人となり、一日の平均利用者数は21.67人になっており、前年度(7,453人)より利用者973人の大幅な減少となる結果となりました。

デイサービス事業についての利用者数が減少した要因として、新型コロナウイルス感染予防のための事業縮小を実施したため、減少傾向がみられます。

平取町社会福祉協議会から受託している高齢者世帯への食の自立支援事業の給食サービスは、前年度(3,434食)に対し3,696食となり、262食の増加となっています。

なお、各事業の利用状況の詳細については、7~8Pをご参照願います。

## (2) 生活の場づくりとサービスの向上について

施設利用契約に基づき生きがいと喜びにつながる生活の場づくりと質の高いサービスの向上を図り、施設利用者一人ひとりの人格と人権を尊重し、更には福祉ニーズの把握に努め、心の通った適切なサービスになるよう計画・実行(実践)・反省(評価)・改善のシステムを取り入れながら実践してまいりました。

## (3) 職員組織と機能強化について

施設経営の円滑かつ効率化を図るため職員組織の充実と機能強化に進めてきましたが、反省にたつて職員組織の見直しや職員としての意義・意欲等についても問い直し、マンネリ化を防ぐためにも、人間関係の再構築、職務に対する認識を再確認する必要があります。

全国的にも介護員、看護師、調理員不足が深刻な社会的な問題となっており、当施設でも介護員、調理員の応募が少ない状況であり、今後は、応募の方法など検討が必要と思われます。

職員研修について、職員の人員不足のため、計画どおりに参加させることができなく、今年度は、必要な研修に参加させ、職員自身の意識向上と利用者の質の向上を目指していきます。

## (4) 財務(会計)管理について

平取かつら園拠点区分の会計につきましては、入所並びに短期入所(ショートステイ)については、計画通り稼働により運営ができました。また、デイサービスでは利用頻度の拡大等などに職員が一丸となって努力したいましたが、介護度の低い方が多かったため介護報酬・利用料の減収と2月下旬から3月については新型コロナウイルスの感染予防のための自粛要請により収入が大幅に減収いたしました。減収については、平取町と協議し概ね支援を頂ける結果になり、次年度に繰入れることとなりましたので、ご報告申し上げます。

全体的な結果として、資金収支計算書による収入は245,463,625円で、支出は257,947,738円、資金収支活動差額はマイナス12,484,113円、施設整備等収支・その他活動収支含め、当期資金収支差額はマイナス4,135,014円で決算したところでございます。前期末支払残高55,920,547円から当期資金収支差額分4,135,014円を引いた51,785,533円が当期末支払資金残高となります。

今後の施設経営につきましては、介護報酬単価が改正毎に下がり厳しい状況が続いているため、常に国の動向を的確に把握しながら健全な施設経営ができるよう平取町及び法人と協議しながら進めていきたい

と考えております。

(5) 食事サービスについて

施設利用者への食事サービスは、保健・医療サービスとともに直接的に生命にかかわるサービスであり、利用者にとっても最も楽しみにしているものです。また、常に食品衛生面に注意しながら、施設利用者の健康状態や嗜好の状況を把握し、一人ひとりがより美味しく、より楽しく食事をしていただくよう配慮しながら提供できるよう努力を重ねておりますが、利用者の重度化に伴い、誤嚥防止に努めていますが、目を離せない利用者が増えている現状です。

施設利用者の食事サービス状況は、次のとおりとなっております。

(人)

	普通食	粥食	刻み食	極刻み食	ミキサー食	経管栄養
男	3	6	2	2	2	0
女	15	28	12	10	4	5
計	18	34	14	12	6	5

(一部重複)

(6) 入浴サービスについて

施設利用者への入浴は、清潔感、爽快感を味わってもらうと共に、機能訓練も兼ねて介助、援助にあたっています。令和元年度についても、月・火・木・金曜日を入浴日として、一般入浴、車椅子入浴、ストレッチャー入浴の3種類に分けて、最低、週2回は施設利用者全員に入浴していただいております。状況に応じた介助にあたっています。

なお、入浴の状況は次のとおりとなっております。

(人)

一般入浴		車椅子入浴		ストレッチャー入浴	
男	女	男	女	男	女
1	8	4	20	4	18
9		24		22	

(7) 保健・医療サービスについて

施設利用者の健康を保持・管理し、疾病状況に対応する保健・医療サービスは、常勤の看護師3名が日常的に健康チェックしながら嘱託医と相談し指示を受けながら看護にあたりました。

嘱託医（平取町国民健康保険病院長・内科医長）については、週1回（平日）に来園し、回診を行う一方、平取町国民健康保険病院と連携を保ちながら施設利用者の疾病の程度に応じて、与薬・通院・入院の処置をとってもらっていますが、どの利用者についても、疾病・障害をもっていますので、いつ何時、体調が急変する可能性があり、昼夜にわたりオンコール体制を強化しているところです。

平成2年2月より日本全国に蔓延している新型コロナウイルスによる感染について、予防マニュアルを作成し対応しているところですが、利用者の疾病状態を常に把握しながら適切な対応、感染

しない対応ができるよう、職員が一丸となり、より一層、細心に対応しているところです。

なお、通院・入院状況は次のとおりとなっております。

①月別通院状況

(人)

	平取町国保病院			苫小牧・札幌の病院			平取町内の歯科医院			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
4月	3	21	24	1	4	5	0	0	0	29
5月	4	15	19	1	6	7	1	2	3	29
6月	3	20	23	2	5	7	0	4	4	34
7月	6	16	22	2	6	8	1	1	2	32
8月	2	12	14	3	6	9	0	0	0	23
9月	1	15	16	4	5	9	0	1	1	26
10月	1	16	17	3	8	11	0	0	0	28
11月	3	11	14	2	11	13	0	3	4	30
12月	6	18	24	2	11	13	0	2	2	39
1月	2	18	20	1	5	6	0	0	0	26
2月	2	9	11	2	6	8	0	0	0	19
3月	2	14	16	2	4	6	2	1	3	25
計	35	185	220	25	77	102	4	14	18	340

※3か月毎のしのじま皮膚科・たに眼科（苫小牧市）の往診診療の延人数は除く

②通院時の受診科延べ数及び入院者実数

(人)

受診科別	受診科別延べ数（年間）			月別入院者実数			
	男	女	計	月	男	女	計
内科	48	294	342	4月	0	4	4
外科	2	32	34	5月	0	5	5
整形外科	0	8	8	6月	0	5	5
もの忘れ外来	15	18	33	7月	0	3	3
循環器内科	0	22	22	8月	0	2	2
泌尿器科	15	0	15	9月	0	4	4
皮膚科	1	6	7	10月	0	3	3
脳神経外科	0	5	5	11月	0	3	3
脳神経内科	0	2	2	12月	0	3	3
婦人科	0	2	2	1月	0	3	3
精神科	16	64	80	2月	1	2	3
歯科	8	18	26	3月	1	1	2
計	105	471	576	計	2	38	40

入院者実数	40人	入院延日数	505日
-------	-----	-------	------

(8) リハビリテーションについて

施設利用者につきましては、日常生活動作をリハビリテーションの一環と位置付け、生活の活性化を図り、生活にアクセントを持たせ、機能回復などにも努め適切に対応した介助ができるよう研究、実践を重ねてまいりました。

デイサービスでは、作業療法士による身体機能の訓練を行うことで、住み慣れた地域で可能な限り長く在宅生活が継続していただけるために努めており、リハビリの効果により身体向機能が向上し、介護度が軽くなった利用者も出てきている状況です。

(9) 行事及びレクリエーションについて

季節的行事及びレクリエーション、特別行事なども企画実施し、単調な生活にならないよう変化を持たせ、期待感をもった楽しい生活になるよう創意工夫をこらしながら実施してきております。

また、歌・舞踊などの観賞会については、地域のボランティアグループ、特別支援学校・中学生の方たちの訪問などがあり、施設利用者との交流を深めながらの行事を継続しています。

今後はさらに施設利用者の実態に応じながら、行事そのものの見直しを行い、内容、方法などにも検討を加え、生きがいと楽しみにつながるような行事・レクリエーションとなるよう工夫し実施していきます。

なお、当施設のメイン行事として、地域とのふれあい交流を促進し、理解と協力を得る行事として『第29回かつら園まつり』は7月21日に開催し、施設利用者の家族をはじめとして、多くの地域の方々の参加を得て盛會に終えることができました。

(10) 地域交流サロンについて

社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人の公益活動の責務の義務化に伴い、平成29年1月より平取生活館にて、少しでも住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができる町づくりの一環として、地域交流サロンを毎週火曜日に2時間程度実施しています。

平均30名を超える(本町地区)の利用があり、介護予防体操を中心に活動していますが、職員だけで活動することではなく、ボランティアグループ(かつら会)及び町保健福祉課の支援を受けながら実施しており、利用者からの反響がよく、参加希望の利用者が増えつつあり、今後も継続していきたいと考えております。

(11) ボランティア活動について

善意あふれる地域ボランティア活動は、施設利用者のサービスの向上、ふれあい地域交流・生きがいづくりの大きな支えとなっております。

施設定例行事や特別行事には必ずといってよいほどボランティアグループの方々が来園され、大きな喜びや楽しみを与えてくれています。また、訪問ボランティアばかりでなく、作業ボランティアの方々も定期的に来園され、花壇の草取り、窓ふき、オムツたたみなどの清掃・地域交流サロン活動にも行って頂いており、福祉施設に対する理解が一段と深められたものと思います。

(12) 防災・事故防止について

災害は予期もせずによってきますので、施設利用者・デイサービス利用者の「生命安全」を第一に防護・防災計画を立て、日常的な火災予防、生活安全、交通安全の意識の高揚とともに防護・防災体制の確立、避難訓練の実施など万全を期してまいりました。自然災害・日中における火災想定避難訓練は10月16日実施、夜間における火災想定避難訓練は2月19日にそれぞれ消防署の指導を受け実施してござ

す。

(13) その他

広報紙『かつら園だより』(年2回発行)や『デイサービスだより』(年2回発行)通じて、施設利用者、デイサービス利用者及びその家族に運営状況を知っていただき、理解、支援、協力関係を更に深めるよう努力をしております。今後も更に広報活動なども活発にしていきたいと考え、施設利用者・デイサービス利用者の方々の生活に安心・潤い・ゆとりをもってもらい、平取かつら園が地域の高齢者福祉の拠点として、また、地域住民の方々にとってもひとつの憩いの場としてふさわしい環境整備に努めてまいります。

(14) 各事業実績（令和2年3月31日現在）について

① 施設利用者利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和元年	稼働率	95.94%	93.02%	94.79%	98.71%	97.48%	97.09%	97.71%
	利用延数	1,583	1,586	1,564	1,683	1,662	1,602	1,666
平成30年	稼働率	93.15%	91.44%	88.30%	91.73%	92.73%	95.45%	97.30%
	利用延数	1,537	1,559	1,457	1,564	1,581	1,575	1,659
比較	稼働率	2.79%	1.58%	6.49%	6.98%	4.75%	1.64%	0.41%
	利用延数	46	27	107	119	81	27	7
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和元年	稼働率	99.27%	98.30%	94.55%	95.74%	95.60%	96.52%	
	利用日数	1,638	1,676	1,612	1,527	1,630	19,429	
平成30年	稼働率	95.82%	97.48%	91.73%	94.68%	98.83%	94.06%	
	利用日数	1,581	1,662	1,564	1,458	1,685	18,882	
比較	稼働率	3.45%	0.82%	2.82%	1.06%	-3.23%	2.46%	
	利用延数	57	14	48	69	▲55	547	

(延人)

② 施設利用者介護度状況

年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
令和元年	0	7	13	25	10	55	3.69
平成30年	0	8	14	22	11	55	3.65

(人)

③ 施設利用者日常生活動作～寝たきり度

年度	自立	軽度		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
令和元年	0	0	0	3	7	6	17	10	12	55
平成30年	0	0	0	1	6	12	20	7	9	55

(人)

④ 施設利用者認知症日常生活自立度

年度	自立	軽度	中度	重度	合計
		(I)	(IIa～IIb)	(IIIa～M)	
令和元年	0	2	12	41	55
平成30年	0	2	10	43	55

(人)

⑤ 施設利用者出身地別構成

地区	男	女	計
川向		1	1
紫雲古津		2	2
去場		5	5
荷菜	2	5	7
本町	1	15	16
小平	1		1
二風谷	1	2	3
荷負		1	1
貫気別		4	4
芽生	1		1

地区	男	女	計
振内町	2	5	7
岩知志		3	3
平取町内計	8	43	51
日高町	1	2	3
苫小牧市	0	1	1
平取町以外	1	3	4
合計	9	46	55

(人)

⑥ 施設利用者年齢構成

区分	男	女	計
65才～69才	0	0	0
70才～79才	1	3	4
80才～89才	5	16	21
90才～99才	3	23	26
100才以上	0	4	4

(人)

平均年齢	
男	87.11歳
女	90.65歳
全体	90.07歳

⑦ 短期入所利用者利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和元年	一日平均	4.17	4.26	4.10	4.13	3.87	4.03	3.97
	利用者数	125	132	123	128	120	121	123
平成30年	一日平均	3.27	3.71	3.17	3.23	3.23	2.83	3.48
	利用者数	98	115	95	100	100	85	108
比較	一日平均	0.90	0.55	0.93	0.90	0.64	1.20	0.49
	利用者数	27	17	28	28	20	36	15
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和元年	一日平均	3.30	3.23	1.55	2.66	0.77	3.33	
	利用者数	99	100	48	77	24	1,220	
平成30年	一日平均	3.93	3.52	1.87	2.14	2.55	3.08	
	利用者数	118	109	58	60	79	1,125	
比較	一日平均	-0.63	-0.29	-0.32	0.52	-1.78	0.25	
	利用者数	▲ 19	▲ 9	▲ 10	17	▲ 55	95	

(延人)

⑧ デイサービス利用者利用状況 (開館日数299日)

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和元年	一日平均	23.42	22.74	23.04	22.48	22.48	23.00	21.52
	利用者数	609	614	576	607	607	575	581
平成30年	一日平均	24.80	25.59	25.04	24.81	25.41	26.00	25.52
	利用者数	620	691	651	645	686	520	689
比較	一日平均	-1.38	-2.85	-2.00	-2.33	-2.93	-3.00	-4.00
	利用者数	▲ 11	▲ 77	▲ 75	▲ 38	▲ 79	55	▲ 108
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和元年	一日平均	21.38	22.60	20.67	20.54	12.56	21.67	
	利用者数	556	565	496	493	201	6,480	
平成30年	一日平均	23.38	22.96	23.33	23.92	24.42	24.60	
	利用者数	608	574	560	574	635	7,453	
比較	一日平均	-2.00	-0.36	-2.66	-3.38	-11.86	-2.93	
	利用者数	▲ 52	▲ 9	▲ 64	▲ 81	▲ 434	▲ 973	

(延人)

⑨ 食の自立支援事業 (給食サービス) 利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和元年	利用食数	344	360	303	352	283	266	293
平成30年	利用食数	308	352	283	261	276	199	288
比較	利用食数	36	8	20	91	7	67	5
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和元年	利用食数	260	260	305	316	354	3,696	
平成30年	利用食数	318	318	295	255	281	3,434	
比較	利用食数	▲ 58	▲ 58	10	61	73	262	

(延食)

⑩ 地域交流サロン「かつら」利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和元年	一日平均	30.50	21.50	26.30	27.20	27.00	28.30	30.30
	利用者数	122	86	105	136	81	113	121
平成30年	一日平均	29.30	29.80	26.30	24.20	20.30	22.00	25.00
	利用者数	117	149	105	121	61	66	125
比較	一日平均	1.20	-8.30	0.00	3.00	6.70	6.30	5.30
	利用者数	5	▲ 63	0	15	20	47	▲ 4
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和元年	一日平均	30.50	33.30	34.70	30.70	0.00	28.90	
	利用者数	122	133	104	92	0	1,215	
平成30年	一日平均	26.50	28.80	31.30	30.80	29.80	27.20	
	利用者数	106	115	125	123	119	1,332	
比較	一日平均	4.00	4.50	3.40	-0.10	-29.80	1.70	
	利用者数	16	18	▲ 21	▲ 31	▲ 119	▲ 117	

(延人)



5. 利用者（平取かつら園・デイサービス） 行事等実施状況について

月 日	行事等	内 容 等
4 月 1 日	令和元年度開始 （開園記念日） 在宅サービス 医師の回診 医師の往診 園内定例入浴 理 髪 ボランティア 誕 生 会 辞 令 交 付 式 健 康 診 断	ホーム利用者55名（男10名女45名）職員（ホーム40名デイ14名 計54名）で事業開始し、昼食時に開園31周年を祝う。 施設サービスと併せショートステイ事業・デイサービス事業を開始する。また、地域交流サロン・食の自立支援事業（平取町社会福祉協議会から委託）を開始する。 週1回、ホーム利用者の健康管理のため、平取町国民健康保険病院の院長（内科医長）が来園し、回診を実施する。 3ヶ月に1回苫小牧市のしのじま皮膚科・たに眼科が往診をいただいている。 通年で週4回（月・火・木・金）の定例入浴を実施する。 毎月1回、本町の植木理容院が理髪のため来園する。 毎週火曜日にボランティアサークル「かつら会」2～6名洗濯たみ・地域交流サロン援助等で来園する。 毎月、ホーム・デイサービスで実施する。 理事長より新年度の挨拶及び辞令交付式（昇格・昇給等）を実施する。 ホーム利用者の健康診断開始（6回に分けて実施）する。
3 日	不在者投票	ホーム北海道知事選挙不在者投票を実施する。（27名投票）
6 日	ボランティア	花壇整備ボランティア3名来園する。
29 日	ボランティア	天理教窓ふきボランティア5名が来園し実施する。
5 月 7 日	園 外 レ ク	ホームお花見ドライブ
10 日	母 の 日	宇南山商事よりホーム女性利用者に花束プレゼントされる。
19 日	地 域 行 事	フラワータウンフェスタ（義経街道花の応援団）に職員9名参加する。
6 月 13 日	デ イ 行 事	デイ焼肉週間を19日まで実施する。
16 日	父 の 日	宇南山商事よりホーム男性利用者に花束プレゼントされる。
19 日	園 内 レ ク	ホーム焼肉昼食会を実施する。
7 月 13 日	ボ ラ ン テ ィ ア	天理教窓ふきボランティア27名が来園し実施する。
17 日	不 在 者 投 票	参議院議員選挙不在者投票を実施する。
21 日	施 設 行 事	第29回かつら園まつり実施する。
8 月 15 日	園 外 レ ク	義経神社祭典のため、8町内の子供による神輿が来園する。
24 日	地 域 行 事	平取町社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」職員5名参加する。
9 月 11 日	施 設 行 事	ホーム敬老祝賀会を実施する。
12 日	デ イ 行 事	デイ敬老週間を18日まで実施する。
15 日	地 域 行 事	ホーム沙流川まつりに6名が見学する。
29 日	園 外 レ ク	ホームドライブ
10 月 3 日	健 康 診 断	ホーム利用者の健康診断開始（6回に分けて実施）する。
21 日	避 難 訓 練	ホーム・デイ合同による災害（日中）想定避難訓練を実施する。
	デ イ 行 事	デイ収穫祭（芋煮）を26日まで実施する。
23 日	職 場 体 験 実 習	デイにて平取中学校生2名職場体験実習を24日まで実施する。
	園 内 レ ク	平取婦人会5名来園し舞踊等で楽しむ。
11 月 2 日	園 外 レ ク	ホーム利用者5名、平取町文化祭見学する。
6 日	園 内 レ ク	平取中学3年生の交流会をホーム食堂にて実施する。
	予 防 接 種	ホーム利用者インフルエンザ予防接種11月末まで実施する
	ボ ラ ン テ ィ ア	傾聴ボランティア8名来園する。
27 日	ボ ラ ン テ ィ ア	傾聴ボランティア6名来園する。

月 日	行事等	内容等
12月 4日	ボランティア	傾聴ボランティア3名来園する。
11日	園内レク	ホームクリスマス会を実施する。
	ボランティア	傾聴ボランティア3名来園する。
12日	デイ行事	デイクリスマス週間18日まで実施する。
26日	園内レク	ホーム餅つき会を実施する。
31日	園内レク	ホーム夕食時に、年越会を夕食時に実施する。
1月 1日	園内レク	ホーム朝食時に、新年交礼会を実施する。
6日	辞令交付式	理事長より年頭の挨拶及び辞令交付式を実施する。
16日	デイ行事	デイ新年親睦週間22日まで実施する。
2月 3日	デイ行事	デイ豆まき（節分）週間を8日まで実施する。
	園内レク	ホーム豆まき（節分）実施する。
19日	避難訓練	ホーム・デイ合同による夜間想定の避難訓練を実施する。
29日	感染予防	新型コロナウイルス感染予防ため、ショート・デイ・地域交流サロン事業休止・縮小などで予防対策を実施する。
3月 25日	デイ行事	デイ一年間通所ご苦労様週間を30日まで実施する。
31日	令和元年度終了	<p>①特別養護老人ホーム事業 入所定員55名 稼働率96.52%</p> <p>②ショートのステイ事業 年間延利用者数 1,220名 1日平均利用者数 3.33名</p> <p>③デイサービス事業 年間延利用者数 6,495名 1日平均利用者数 21.72名 年間開催日数 299日 年度末登録人数87名（予防23名・介護64名）</p> <p>④食の自立支援事業（平取町社会福祉協議会からの委託） 年間延食数 3,696食</p> <p>⑤地域交流サロン事業 年間延利用者数 1,215名（42回開催） 1回平均利用者数 28.9名</p>

令和元年度

# 事業報告書

社会福祉法人 平取福社会  
軽費老人ホーム ケアハウスしずか

# 事業報告書 目次

1. 施設の概要	1
(1) 施設名	
(2) 利用定員	
(3) 事業開始年月日	
(4) 職員の状況	
(5) 日課表	
2. 施設サービスの特徴	1
3. 入居の状況	2
(1) 利用の状況について	
(2) 入所者の男女別人数について	
(3) 入所者の年齢状況について	
(4) 要介護度の状況について	
(5) 入退去の状況について	
(6) 待機者の状況について	
4. 施設の運営	3～4
(1) 入退所について	
(2) 施設管理について	
(3) 非常災害対策について	
(4) 職員の資質向上について	
(5) 地域との連携について	
5. 入所者の処遇	4～5
(1) 食事の提供について	
(2) 生活相談等について	
(3) 余暇活動への支援について	
(4) 居宅サービス等の利用について	
(5) 健康保持について	
(6) 衛生管理等について	
6. 令和元年度の総括	5

## 1 施設の概要

- (1) 施設名 軽費老人ホーム ケアハウスしずか  
(2) 利用定員 20名  
(3) 事業開始年月日 平成16年4月1日  
(4) 職員の状況 (令和2年3月31日現在)

職 種	職 員 数 ( 人 )			
	専 任	兼 任	計	勤務形態
施 設 長	1.0		1.0	常勤
事 務 員		0.5	0.5	常勤
生活相談員	1.0		1.0	常勤
介護職員	1.0	0.5	1.5	常勤
合 計	3.0	1.0	4.0	

### (5) 日 課 表

時 間	内 容
各 自	起床
7 : 4 0	ラジオ体操
7 : 4 5	朝食
8 : 3 0	下膳・(余暇(娯楽・ゲーム))
1 1 : 4 5	軽体操・健口体操
1 2 : 0 0	昼食
1 2 : 4 5	下膳
1 3 : 0 0	余暇(娯楽・ゲーム・軽体操)
1 7 : 3 0	夕食
1 8 : 1 5	下膳

※入浴(月・水・金) 13:00~17:00

## 2 施設サービスの特徴

ケアハウスしずかは、高齢者の特性に配慮した住みよい住居及び適切な食事を提供するとともに、入所者の自立性を尊重することを基本としながら、入浴等の準備、相談及び余暇活動の援助、健康管理などの日常生活上必要な便宜を提供することにより、入所者が安心して明るく心豊かに生活できるようにすることを目指しています。

令和元年度は、入退去者が多く、また、年々支援が必要な入所者が増えていますが、施設での生活がより充実したものになるよう、職員一同更なる努力が必要であると認識しています。

### 3 入居の状況

#### (1) 利用の状況について

令和元年度におけるケアハウスしずかの利用状況は、各月の初日在籍人員で年間240名の利用者数で、100%の利用率でしたが、入院者数等を控除した場合の年間を通じての入居率は90%でした。

#### (2) 入所者の男女別人数について

令和元年度末現在の男女別の人数は、女性15名、男性5名でした。

#### (3) 入所者の年齢状況について

令和元年度末現在の全体平均年齢は85歳で、男性85.8歳、女性84.7歳となっており、入所者全体の3割にあたる6名の方が90歳代でした。

年代	男性	女性	合計
60歳代		1名	1名
70歳代	1名	2名	3名
80歳代	2名	8名	10名
90歳代	2名	4名	6名
合計	5名	15名	20名

#### (4) 要介護度の状況について

令和元年度末現在の介護度別状況は、入所者全体の5割にあたる10名の方が要支援者、要介護者という状況で、うち5名が要支援者、5名が要介護者でした。

介護度	男性	女性	合計
要支援1	1名	2名	3名
要支援2	2名		2名
要介護1		5名	5名
合計	3名	7名	10名

#### (5) 入退去の状況について

令和元年度中における入退去の状況は、退去者数4名、入所者数4名でした。4名の退去者は1名が死亡により退所、3名が他施設への転居となっております。

#### (6) 待機者の状況について

令和元年度末時点での待機者数は12名ですが、今すぐ入所希望が少なく、先を見据えての申し込みが増えている状況でした。

## 4 施設の運営について

### (1) 入退所について

高齢化に伴い体調を崩し入院、そして退所にいたる利用者が多くなってきました。また、新たに入居される方についても、介護認定を受けている方からの申し込みが増加傾向にあります。こうしたことから、ケアハウスとして受入体制をどこまで広げていく必要があるかということが今後の課題となっています。

### (2) 施設管理について

入所者が安心して生活できるよう毎年建物や設備の定期的な点検を実施していますが、開設から16年が経過し、建物の経年劣化や設備の老朽化で修繕費が増加となっています。このため、今年度は、屋上防水工事について、国及び平取町の補助申請を行ない全額採択されましたが、実際の工事は、令和2年の工事となります。いずれにしても、修繕や設備の更新は計画的に実施していかなければなりません。

### (3) 非常災害対策について

東日本大震災や胆振東部地震を教訓に火災だけでなく、水害、土砂災害、地震等にも対処するため、今年度非常災害に対する具体的な計画を策定しました。また、計画にもとづき、避難、救出訓練を消防職員の指導のもと実施しました。

入所者の中には自力での避難が困難な方もいますので、今後、自治会等との避難時の協力関係を構築していくことが必要であると考えています。

#### <避難訓練の状況>

内 容	実 施 日
避 難 訓 練	7月 1日
防 災 訓 練	9月19日
夜間想定避難訓練	10月24日

### (4) 職員の資質向上について

施設長を含め4名の職員で施設運営しているため、外部の研修の機会が少ない状況でしたが、職員会議等で新たに入居した方の支援の確認や身体機能に低下等のある入所者の状況報告や支援内容の確認を行なうことにより、職員の意識向上に努めました。

### (5) 地域との連携について

入所者の施設外での活動を積極的に奨励しました。老人クラブや文化団体等への加入を促進し、町内会が主催する花見会や敬老会などには積極的に参加を呼びかけました。また、施設内行事ではボランティア団体を招くなどして地域に開かれた施設として外部との交流を図りました。

<ボランティア団体との交流状況>

団 体 名	時 期
芳 誠 会	3月
平 取 婦 人 会	10月
き み か げ 草	11月
富川照翠民謡会	3月

## 5 入所者の処遇

### (1) 食事の提供について

日常の食事の状況や入所者との会話、嗜好調査を通じて個々のニーズを把握し、より美味しく、より楽しい食事を提供できるよう雰囲気づくりに配慮しました。委託業者とは毎月給食会議を開き、献立や調理員の接遇についても話し合いを重ねています。また、入所者の嚥下や咀嚼の状況、食欲などの心身の状態等を食事に反映させるため、調理員との連絡を十分とりながら、おかゆ（毎食2名、夕食のみ3名）やきざみ食を提供するなど調理方法を工夫することによる適切な対応を心がけました。

<嗜好調査の実施年月日等>

- ◇調査対象      しずか入所者
- ◇調査期間      令和元年11月16日～11月24日
- ◇回収結果      対象者20名 回収8名 回収率40%

### (2) 生活相談等について

入所者の心身の状況及び置かれている環境等の的確な把握に努め、入所者又はその家族に対し、各種相談に適切に応じるとともに必要な助言又は援助を行いました。また、アンケート調査や懇談会を開き、入所者一人ひとりの生活全般のニーズの把握に努め、充実した生活をしていただけるようきめ細やかな対応を心がけました。生活アンケート調査の内容と結果は次のとおりでした。

<生活アンケート調査の実施年月日等>

- ◇調査対象      しずか入所者
- ◇調査期間      令和元年11月16日～11月24日
- ◇回収結果      対象者20名 回収8名 回収率40%

### (3) 余暇活動への支援について

介護予防を考慮した健口体操や脳トレ、季節の行事、レクリエーションの参加を促進し、趣味活動への取り組みを積極的に支援しましたが、高齢化が進み、参加人数が減少傾向にあります。



#### (4) 居宅サービス等の利用について

令和元年度末現在10名の入所者が介護保険サービスを利用していますが、入所者が必要とする介護保険サービスを円滑に利用できるよう近隣の居宅サービス事業所や医療機関とも連携を図りながら情報の提供を行うなど必要な支援をしました。また、介護サービスの利用状況は次の表のとおりでした。(重複有り)

種 類	男 性	女 性	合 計
ヘルパー訪問	3名	2名	5名
デイサービス	2名	4名	6名
福祉用具のレンタル		4名	4名
全 体	5名	10名	15名

#### (5) 健康保持について

毎朝、職員が利用者一人ひとりの居室を訪問し、健康状態の把握に努めました。その中で体調不良の利用者がいた時には、医療機関への早期受診を勧めるとともに、家族への状況報告の電話も徹底しました。また、毎月定期的に保健師による健康相談・血圧測定を実施し病気の早期発見に努めました。

服薬管理が必要な入所者(11名)と大変多くなってきており、入所者ごとに服薬のチェックを行い、一括手渡しではなく、服用ごとに配布しました。

#### (6) 衛生管理等について

感染症や食中毒が発生しないよう職員会議等で打ち合わせを行いました。また、関係機関が開催する研修会に参加し、情報の収集に努めるとともに、入所者に対しても手洗いの励行を啓蒙しました。

## 6 令和元年度の統括

令和元年度は、入所者の日常生活動作の低下や介護度等の進行により、一層の個々に応じた多様なサービスの提供が求められるようになってきました。そのため、入所者ニーズを汲み取るためどのように関わっていくかということに重点を置き、ご本人、ご家族との意見交換など行ない、お互いに理解を深めて情報を共有できるよう努めてきました。

また、令和元年度の終盤に発生した新型コロナウイルス感染症においては、感染対策はもちろんのこと、入所者に対しての十分なサービスの提供ができなく、楽しみが減ったことでの心身の変化による不調等が出る、ようするにコロナ疲れが懸念されます。一日でも早く新薬ができ、終息することを祈るほかありません。

最後となりますが、令和2年度も引き続き、個々のニーズに応えられるよう積極的に取り組むとともに業務改善に努めていきたいと考えております。

C

C

令和元年度

# 事業報告書

社会福祉法人 平取福社会  
相談支援事業所「なないろ」

事業報告書 目次

1. はじめに	1
2. 経営計画に関わる概要	1
3. 相談等の実施実績	1
① 実施日数	1
② 相談受付ルート	1
③ 相談方法の状況	1
④ 障害別利用件数	2
⑤ 相談者別件数	2
⑥ 相談内容	2
⑦ 事業内容別件数	2
4. 緊急対応及び虐待防止対応	2
5. 区分認定調査	2
調査実績	2
6. 職員研修等	3
① 情報交換及び勉強会	3
② 研修	3

## 1. はじめに

令和元年度の事業といたしましては、福祉サービスを利用している障害者への相談計画書及びモニタリング報告書作成を主に行い、地域生活支援として在宅者の就労・生活状況の確認や相談、及び退院に向けた支援等を行ってきました。

また、計画書等の作成以外の相談及び協力依頼が、多くはありませんが来ています。しかし、一人ひとり生活環境や状況が違いうため、必要とする支援も異なっています。

例えば、高齢者で障害のある方への支援は、介護からの対応・障害からの対応、それぞれに必要なとする認定（要介護度・支援区分）結果とご本人の必要とする介助又は支援をすり合わせ、方向を決めます。

また、当事業所だけで対応しきれないことも多々あります。

そのためには、ご本人や家族への説明や話し合いは勿論のことですが、関係機関への問い合わせ及び協力も必要不可欠で、相談者の将来・それに向けた助言等、方向性の統一が必要で随時連携を取りながら進めてきました。

## 2. 事業計画にかかわる概要

令和元年度の事業の基本方針をもとに、平取町から委託を受けた基本相談と、平取町指定の特定相談支援事業・障害児相談支援事業、道指定の一般相談支援事業（移行・定着）、その他、各市町村からの委託契約で行う認定調査や、必要に応じて他町村との連携等で事業を行い、また、スキルアップのための研修に参加してきました。

## 3. 相談等の実施実績

① 実施日数 236日

### ②相談受付ルート

- ・障害福祉サービス事業所
- ・他町村の相談支援事業所
- ・行政機関
- ・病院
- ・家族及び本人

### ③ 相談方法の状況

方法	電話	訪問	同行	来所	計
延件数	175	829	2	39	1045件

※下記の4点は上記に含む

- ・関係機関情報提供・調整
- ・家族の相談、会議
- ・地域定着支援
- ・認定調査

## ④ 障害別利用延件数

	知的障害	精神障害	身体障害	発達障害	その他	不明	計
障害者	805	119	85	4	1	1	1015
障害児	22	0	1	5	3	1	30
計	827	119	86	9	3	1	1045件

## ⑤ 相談者別件数

相談者	本人	家族	関係者	関係機関	計
延件数	492	30	4	519	1045件

## ⑥ 相談内容

内容	延件数	内容	延件数
福祉サービスの利用全般	216	社会資源の活用関係	37
障害や疾病状況関係	42	社会参加関係	25
健康・医療関係	229	余暇活動関係	140
不安の解消・情緒安定関係	143	権利擁護関係	3
希望・意向確認関係	42	住宅環境関係	17
保育・教育関係	13	施設利用・案内関係	33
家族・人間関係	235	情報共有・調整・確認等関係	278
家計・経済関係	55	行政・制度の説明関係	66
生活技術関係	186	手帳・年金・申請関係	18
移動関係	2	その他の福祉関係	0
日中活動・就労関係	528	計	2308

## ⑦ 事業内容別件数

内容	延件数	内容	延件数
基本相談	263	同行	0
計画相談・計画案・計画作成	141	生活困窮者支援	3
計画相談・モニタリング	566	地域移行・定着支援	17
認定調査	55	計	1045件

4. 緊急対応及び虐待防止対応 0件

5. 区分認定調査（町外） 調査実績 4件（帯広市 函館市 千歳市 上士幌町）

## 6. 職員研修等

### ①情報交換及び勉強会

- ・日高圏域相談支援連携会議・生活困窮者相談支援事業会議

～日高管内の同事業者（相談支援事業）が集まり、情報交換や事例検討会を月1回開催しています。

- ・その他の会議(町外会議)

～生活困窮者自立支援法に係る関係機関連携協議会及び支援会議、自殺予防対策ネットワーク会議、医療と福祉の連携会議、農福連携推進北海道セミナー、日高圏域地域生活移行支援協議会等の会議に参加いたしました。

- ・その他の会議(町内会議)

～成年後見制度推進協議会、権利擁護検討会議、高齢者見守りネットワーク会議、後見検討委員会、地域包括支援センター運営協議会等の会議に参加いたしました。

### ② 研修

・福祉サービス業に係る集団指導をはじめとし、相談支援従事者研修、市民後見フォローアップ研修、発達支援関係職員実践研修、北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修、難病対策専門研修会、福祉人材研修・相談支援員研修、生活福祉貸付事業研修、生活困窮者自立相談支援制度研修会、多重債務の相談に係る勉強会、障害者差別解消法道民フォーラム、子供発達支援研修会等の研修に参加いたしました。

